

平成28年度 こころの医療センター院長マネジメントシート(最終実績)

病院名	こころの医療センター										
ビジョン	県民の皆さんのより良いこころの健康をめざし、三重県の精神科医療をリードします。										
経営方針	精神科急性期医療の拠点病院として整備充実し、患者様や地域関係機関等からのニーズに対応すべく、精神科専門医療を充実すること によって、県民から愛され信頼される病院づくりをめざします。										
区分	経営シナリオ	目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	H27 実績値	H28 目標値	H28 実績値	アクションプラン	実績評価	次年度への課題	
顧客の 視点		◎重点取組事項	病院機能の再編・推進	訪問看護件数	4,837件	5,000件	5,154件	・アウトリーチサービス、日中活動支援の充実	・訪問看護体制の充実(複数訪問の強化)を行い、目標を達成することができた。	・訪問看護をはじめとするデイケア等の日中活動支援に対するニーズに対応するための体制整備を引き続き進めていく必要がある。	
		開かれた病院経営	ステークホルダーとの協働	地域精神保健医療体制検討会開催	1回	2回	2回	・地域精神保健医療体制検討会の開催	・保健所と合同の会議を前年度に引き続き開催することができた。	・地域精神保健医療体制検討会以外の関係機関との連携強化も図る必要がある。	
		早期社会復帰の推進	満足度の高い医療の提供	患者満足度(※)	74.9%	89.7%	87.5%	・患者等ニーズの把握	・施設、設備面の改善を図るとともに、接遇委員会による清掃活動や声の箱に対する対応を行った。	・引き続き、患者の皆さんの声を踏まえながら、職員研修等を実施していく必要がある。	
		早期社会復帰の推進	新患者の寛解率の向上	新患者の寛解率	68.2%	60.0%	64.9%	・早期、急性期医療の充実 ・地域生活支援体制の推進	・寛解率は引き続き高いレベルを維持することができた。	・引き続き、早期、急性期医療の充実を図りながら、寛解率の向上に努めていく必要がある。	
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	精神科救急・急性期医療の推進	救急患者受入患者数	232人/年	230人/年	211人/年	・精神科救急受入体制の確保	・三重県精神科救急医療システムの支援病院として、多くの救急患者の受入れを行った。	・引き続き、支援病院として受入体制を維持していく必要がある。	
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	地域生活支援体制の充実	長期入院患者(5年超)の退院数 長期入院患者の多職種チーム医療	6件 7件	4件 10件	2件 7件	・院内委員会(チャレンジ会)の活動支援 ・リハビリバスの院内普及	・目標は下回ったものの、全体の長期入院患者数を減少させることができた。	・引き続き、長期入院患者の地域移行を図り、長期入院患者の減少に努める。	
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	地域医療機関との連携	紹介率 医療機関訪問件数	42.9% 200件	45.0% 200件	48.9% 200件	・地域医療機関への訪問 ・地域連携ミーティングの開催	・紹介率、医療機関訪問件数の両方で目標を達成することができた。	・地域の医療機関との連携を深めながら、紹介率の向上を図っていく必要がある。	
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	精神科早期介入の推進	早期介入対応件数	213件	200件	151件	・早期介入拠点(YMSC/MIE・YAG)の充実、ケースマネジメント体制の確立	・こころしつとこセミナー件数は目標を達成したものの、早期介入対応件数は目標を達成することができなかった。	・YMSCの取組等を早期介入につなげられるような情報提供の方法等について引き続き、検討していく。	
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	県民ニーズの高い精神科医療の取組	こころしつとこセミナー件数	38件	28件	45件	・精神科医療取組の広報・啓発等			
		財務の 視点		◎重点取組事項	臨床・経営指標に基づいた病院運営の確立	臨床・経営指標の追加・充実	追加	充実	指標事業への参加	・臨床・経営指標の追加等、データ分析	・全国自治体病院協議会が行っている「医療の質の評価・公表等推進事業」へ参加し、職員の知識を深めた。
医業収支改善	医業収支比率の改善			医業収支比率	73.3%	73.9%	72.6%	・精神科専門治療の充実 ・精神科特定入院料の算定 ・収支改善に向けた病院機能の検討	・入院については、延べ入院患者数の増加により、病床稼働率が向上した。	・引き続き、病床稼働率や外来単価の向上等を図り、医業収益の増加に努める。	
医業収支改善	経常収支比率			101.6%	101.0%	100.8%		・外来については、前年度とほぼ同数の平均患者数だったものの、目標を達成することができなかった。	・経常収支については、経常黒字を達成し、12年間連続の黒字を確保することができた。		
医業収支改善	職員給与費比率			92.6%	91.1%	95.7%					
医業収支改善	病床稼働率			80.0%	86.2%	81.8%		・病棟機能の明確化と病棟間の連携 ・飲酒運転違反者に対する診察 ・認知症相談、啓発研修の実施			
医業収支改善	アルコール病棟1日平均患者数			27.4人	37.0人	27.5人					
医業収支改善	認知症病棟1日平均患者数			38.1人	40.0人	37.3人					
医業収支改善	外来1日平均患者数			254.8人	280.0人	253.5人			・各種プログラム等による支援の充実		
医業収支改善	平均在院日数の短縮			急性期病棟(アルコール病棟を含む) 療養病棟	63.7日 288.2日	58日 260日	67.8日 401.3日				
内部プロセスの 視点				◎重点取組事項	切れ目のない病院機能体制の確立	重度療養患者治療件数	5人	4人	3人	・重度療養患者に対する適切な治療の実施	・前年度より開始した重度療養患者に対する治療を継続して行えるよう、多職種による勉強会や症例の検討会を行った。
		救急急性期治療病院への体制整備	常時急性期患者受入体制の確立	措置鑑定対応件数	61件	50件	54件	・県障がい福祉課・保健所等との連携、院内救急体制整備	・措置鑑定要請に対して100%対応することができた。	・措置鑑定要請に100%対応できるよう、体制を維持していく必要がある。	
		精神科倫理に則った病院運営	医療安全感染管理の徹底	医療安全研修会参加率	91.3%	90.0%	87.0%	・医療安全研修の複数回実施	・医療安全研修を複数回開催し、研修参加機会の供与に努めた。	・引き続き、医療安全意識の醸成のため、研修機会の供与を図っていく。	
学習と成長の 視点		◎重点取組事項	人材育成の充実取組	倫理委員会(研修)開催数	3回	2回	2回	・職員の倫理意識向上のための研修の実施 ・職員表彰制度の継続実施	・身体拘束等の行動制限に係る研修を開催した。	・引き続き、医療倫理や職員のスキル向上につながる研修を実施し、人材を育成していく必要がある。	
		専門性の向上	専門能力を身につけた職員の増加	人材育成研修開催数	2回	2回	2回	・職員のスキルアップのための体系的な院内研修の実施	・院内全職員を対象にした研修を開催し、知識向上を図った。		
		三重県の精神科をリードする取組	精神科医療スタッフの育成	看護実習等受入数	2,241人	2,200人	1,997人	・院内受入体制の整備 ・研修プログラムの見直し、充実 ・看護大学との連携による臨床能力の向上	・派遣元の学校の実習年度の変更(2年次→3年次)により、前年度実績を下回った。	・県内の精神科医療水準の向上のため、実習生等を積極的に受け入れていく必要がある。	
		風通しの良い職場づくり	職員満足度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的な回答割合	-	62.0%	62.7%	・ワーク・ライフ・マネジメントの推進	・モチベーションが向上するよう職種間での対話を促進した。	・引き続き、対話を通じてワーク・ライフ・マネジメントを推進する必要がある。	

※H27年度までは、「当院を親しい友人等へ紹介しますか」という設問に対する肯定的な回答割合により算出していましたが、H28年度からは、「当院の診療に満足していますか」との設問に対する肯定的な回答割合により算出しています。